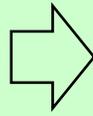


「地域の遊休農地や耕作放棄地を無くしたい」との思いから法人を設立 ～農事組合法人 あぐりらんど飯山～

経営体の概要

当初：平成15年
基幹作物：水稲、小麦、はだか麦
経営面積：約7.5ha



現在：令和3年度
基幹作物：水稲、小麦、はだか麦、
ブロッコリー
経営面積：約83ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

地域の農地を守ることを目的に、平成15年に「農事組合法人あぐりらんど飯山」を地元の有志5名で設立。「遊休農地や耕作放棄地を無くしたい」との思いから、管理を依頼された農地は基本的に引き受けて、設立当初の約7.5haの経営面積から、現在は約83haの農地を管理する大規模経営体となっている。当法人の麦（小麦、はだか麦）の作付面積は香川県で最大級を誇る。

事業により安定的に供給される農業用水を利用しながら、組合員5名で労力の省力化と作業の効率化を重視した営農に取り組んでいる。

営農改善のポイント

①省力化

当法人が管理するほ場は920枚あり、さらに10a未満の狭いほ場が多くを占めている。そのため、ほ場の大きさに応じて小型トラクターから大型トラクターなど様々な農業機械を揃え効率的に作業できる体制を整えている。

草刈りにかかる労力を省力化するため、除草剤と草刈り機を併用して作業し、組合員だけでなく近隣の定年退職者など外部雇用を活用して対応している。



堆肥散布車（左）と
トラクター（右）

②規模拡大・土地利用調整

預かった農地は丁寧に草刈りするなど、責任を持って管理する当法人の誠実な取組が近隣農家からの高い信用を得ており、当法人へ農地を預かって欲しいという依頼が多く寄せられている。耕作条件の悪い狭小なほ場でもできるだけ預かることで、地域の農地維持に貢献している。



小麦の収穫風景

③作物の変化

平成18年にたまねぎを導入したが、価格が低迷したため、平成20年からブロッコリーに切り替えた。現在では小麦、はだか麦の作付を中心に、水稲とブロッコリーを合わせた営農に取り組んでいる。



水稲の栽培状況

事業概要

事業種：国営農業用水再編対策事業
関係市町：香川県丸亀市、坂出市、善通寺市、
綾歌郡宇多津町、仲多度郡琴平町、
多度津町、まんのう町

受益面積：3,996ha
事業期間：平成20年度～平成28年度
事業目的：用水改良
主要工事：用水路（改修57.9km、新設3.4km）
水管理施設（改修・新設）

位置図（香川県）



<問い合わせ先>
中国四国農政局
農村振興部農地整備課
電話：086-224-4511
（内線：2562）

（令和4年度調査時点）